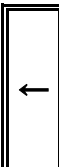


CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島八丁堀プロジェクト	階数	地上16F 地下1階
建設地	広島県広島市中区八丁堀16番11号	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,500 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,312 時間/年
建物用途	事務所、物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2015年11月30日
敷地面積	2,581 m ²	作成者	猪股和広
建築面積	1,748 m ²	確認日	2015年11月30日
延床面積	26,041 m ²	確認者	藤森慶弘



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	77%
④上記+	77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

音環境	4.0
温熱環境	3.1
光・視環境	3.4
空気質環境	3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

機能性	4.1
耐用性	3.7
対応性	3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

生物環境	3.0
まちなみ	5.0
地域性・敷地外環境	3.5

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

建物外皮の	4.7
自然エネ	3.0
設備システ	4.8
効率的	4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

水資源	3.4
非再生材料の	4.3
汚染物質	3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

地球温暖化	3.9
地域環境	3.8
周辺環境	3.2

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.9

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.2	スコア = 3.1	スコア = 3.6
設計の計画上特段に配慮した事項 断熱性の高い建材を採用している。// 高効率な設備機器を採用している。// 主要な用途別に細かくエネルギー消費量を計測し、管理体制の整備、エネルギー消費量の目標値を設定して、エネルギーの効率的運用を計画している。// 節水器具、リサイクル材、再利用可能なユニット部材、材料使用量削減に寄与する材料・工法を積極的に採用している。// 高効率な設備システムの導入により、CO ₂ 排出量の抑制に配慮している。	設計の計画上特段に配慮した事項 // 駐車場・駐輪場の確保、出入りのしやすい駐車場を計画している。	設計の計画上特段に配慮した事項 制振装置を導入し、強風時の居住性の向上を図っている。耐用年数の長い材料(外装・内装・ダクト・配管材)を採用している。// OAフロア、システム天井の採用により、電気・通信配線は仕上材を痛めず更新・修繕可能な計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される